



# 躍動する杜の都 新たなステージへ

## —平成31年度施政方針から



仙台市長  
郡 和子

仙台が市制施行し、130年。平成の時代とともに政令指定都市に移行してから30年の歩みを刻んできた中で、東日本震災をはじめとする幾多の試練や時代の変化を乗り越え、環境と都市機能が美しく調和する「杜の都」を創り上げてきました。

今、グローバル化や高度情報化、ライフスタイルの多様化など、私たちが取り巻く環境は大きく変化しています。仙台が人々の夢や意欲を育み躍動し続けるまちであるためには、多様な人々の知恵と力を掛け合わせ、力強く前進することが必要です。市民の皆さまとともに「杜の都」の豊かな自然、知的資源や若者の多い学都、震災を乗り越えた市民力などの都市個性を見つめ直し、磨き上げながら、新たなチャレンジを続けていきます。これから、未来に向けたまちづくりの指針となる新総合計画の議論が本格化します。次なる30年を見据え、変革へのスタートラインに立ち、輝き続ける未来への活路

を市民の皆さまとともに切り開いていきます。  
このような考えの下、新年度の主題を「躍動する杜の都 新たなステージへ」とし、希望ある未来を創るべく、全力で取り組んでいきます。

### 人が集い、成長し続けるまちづくり

都市の発展に向けて、要となる地域経済の活性化・地元中小企業の競争力の強化を推進します。高成長が見込まれる企業への集中的な支援により地域経済をけん引する「仙台未来創造企業」を輩出するとともに、中核人材の育成による経営力強化の取り組みを始めます。また、地元企業へ就職する方を対象とした奨学金返還支援制度を開始するほか、IT産業とさまざまな業種との協業によるX-IT ECHを推進し、新たな事業モデルの構築等を目指します。さらに、仙台・東北の未来に大きなイノベーションを生み出す次世代放射光施設の利活用に向けた取り組みや、関係機関との連携構築を進め、この施設を中核としたリサーチコンプレックスの形成を図ります。

交流人口拡大については、国内外からの誘客を消費につなげるため、本市ならではの多彩な体験プ



伊達武将隊と歴史的建造物などを巡るまち歩き体験では、仙台の歴史や魅力を感じることができます

カウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援体制強化や全ての市立中学生を対象に学級生活の満足感などを把握するアンケート調査を実施します。また、中学3年生を対象に35人以下学級を拡充し、全市立学校へのエアコンの早期設置に取り組めます。

プログラムを創出し、誰もが楽しめる「日本一の体験都市」を目指します。また、仙台空港への新規路線誘致に取り組むとともに、大規模な企業内会議や研修会等新たな分野の会議誘致を進めます。東北の食に着目したツーリズムを推進するほか、勾当台公園に東北の食材を活用するカフェ・レストランを設置し、多様な魅力を発信します。経済・観光の活性化には、都心の機能強化が重要との認識の下、「仮称」都心再構築プロジェクト」をスタートします。市役所本庁舎建て替えや定禅寺通活性化、音楽ホール整備の検討等を進めるとともに、経済の活性化と連動させた都心機能の更新や利便性の高い都心交通環境の整備に取り組みます。

### まちと地域を支える人づくり

子どもが健やかに学び育つことのできる環境づくりに向けて、いじめや不登校などの未然防止、早期の発見と対応のため、スクール



育児相談や授乳ケアが受けられる産後ケア事業など、産後の母親に寄り添ったサポートを行います

切れ目のない子育て支援の充実のため、産婦健康診査の助成や産後ケア事業を通年で実施するとともに、保育基盤の整備など引き続き待機児童の解消に取り組めます。また、幼児教育無償化の円滑な実施に向けた対応を着実に進めます。発達に不安を抱える未就学児や保護者の支援のため、児童発達支援センターの機能を拡充し、ペアレント・プログラムを活用した啓発や相談、幼稚園等との並行通園をモデル事業として実施します。多様性を認め合い誰もが生きがいを持って暮らせるよう、障害のある方への就労支援や差別解消の啓発に取り組めます。また、高齢

者が地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めます。誰も自死に追い込まれることのない仙台の実現に向け、地域自殺対策推進センターの整備やSNSを活用した相談窓口の設置等により、対策を強化します。地域コミュニティ強化の観点から、町内会等への住民参加を促進するとともに、「町内会役員担い手講座」を全市に展開し、役員となり得る人材の発掘・育成等につなげていきます。また、日常生活を支える移動手段の確保に向け、地域、運行事業者との協働による地域交通スタート支援事業の実証運行を目指すとともに、他の地域にも広げるよう進めていきます。

### 未来を守る、防災環境都市づくり

災害救助法に基づく救助実施市の指定を受けることで、大規模災害時の被災者支援を迅速かつ円滑に行う体制を整えるほか、国土強靱化地域計画の策定に着手します。市中心部の震災メモリアル拠点の基本構想策定に向けた検討を進めるほか、小学生の校外学習での荒浜小学校活用による未来の防災の担い手づくりに取り組めます。また、世界防災フォーラムと仙台防災未来フォーラムを同時開催し、



国内外の防災の専門家等が集う世界防災フォーラムでは、国際的な防災の課題について議論されます(写真は平成29年11月開催時)

市民の防災意識の向上を図り、仙台防災枠組の採択都市としての責務を果たしていきます。

地球温暖化対策を推進するための条例の在り方や、事業者による温室効果ガス排出削減を図るアクションプログラムの導入に向けた議論を深めるとともに、食品ロスの削減など、ごみの減量とリサイクルを一層進めます。

復興の着実な推進に向けては、被災された方々への心のケアを含む健康支援やコミュニティ活性化などに引き続き取り組めます。

◆ 地域課題が多様化する中にあるのは、市民の皆さまとともに施策を組み上げる努力が一層重要であり、政策形成過程への市民の皆さまの幅広い参画と多様な主体との連携により、市民が主役のまちづくりを推進していきます。新たな時代を迎えようとする中、復興の次のステージに向けて確実に歩みを進めていきます。